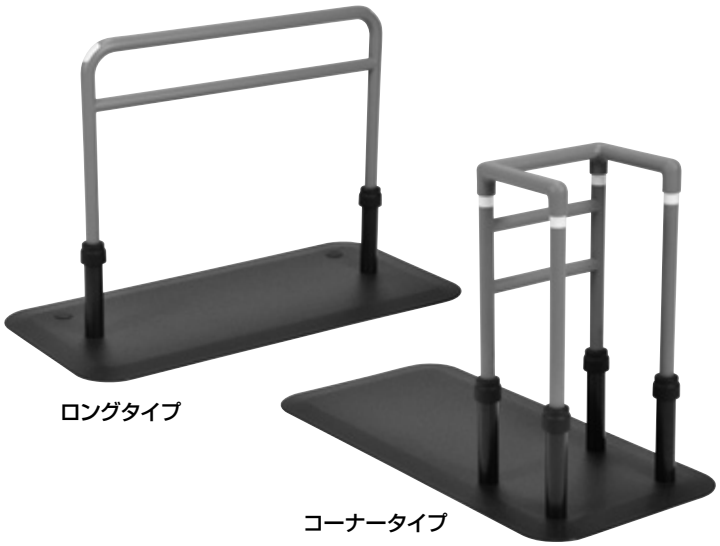
molten®
From the Inside Out

生活機能支援手すり ルーツ コーナータイプ（離床支援） ロングタイプ（歩行支援）

取扱説明書



目　次

○注意事項・・・・・・・・・・・・・・P1
○各部名称および梱包内容・・・・・・・P2
○組み立て方法・・・・・・・・・・・・P2
○設置方法・・・・・・・・・・・・・・P3
○高さ調整方法およびフィッティング・・P4
○運搬・保管方法・・・・・・・・・・・P5
○点検項目・・・・・・・・・・・・・・P5
○このようなときには・・・・・・・・・P6
○お手入れ方法・・・・・・・・・・・・P6
○保証書、仕様・・・・・・・・・・・・P7

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。
ご本人の健康状態や体調が変化した場合には医師や看護師などの専門員に相談した上でご使用ください。
ご本人の身体状態、設置場所を十分確認し、安全であることを確認してからご使用ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

●ご本人や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
取扱説明書に表示されている記号および言葉は、表示内容を無視した誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分で表しています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性がある場合。

⚠ 注意：障害を負う可能性または物的損害を発生させる可能性がある場合。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より快適にご使用いただくためのアドバイスが書かれていることを意味します。

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分して表しています。

⃠ この絵表示は、してはいけない「禁止」の意味です。

(!) この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の意味です。

注意事項

ルーツは置くだけで使える安心感、安全性を向上した床置き型手すりです。下記内容を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

●ルーツは単独で使用する製品です。絶対に他社製品と組み合わせたり、連結して使用しないでください。
手すりが変形・破損したり不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

●製品に異常がある場合は、使用しないでください。
使用中不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

●手すりに座ったり、ぶら下がったり、踏み台にしないでください。
通常の使用状態以上の力や衝撃が加わると、変形したり破損するおそれがあります。また転倒し、ケガをするおそれがあります。

●手すりを横から引っ張ったり体をぶつけたりしないでください。
手すりが不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

●利用者様の動線を十分に検討しないまま設置しないでください。
本来の性能を発揮することができません。利用者様の動線に合わせて最適な位置に設置してください。

●手すりの高さや位置を利用者様の身体状態に合わせないまま設置しないでください。
手すりの高さや位置は利用者様の身体状態に合わせ、最適な設定と設置を行ってください。
身体状態に合わない無理な高さや位置で使用すると体を痛める原因や、転倒しケガをするおそれがあります。
無理な姿勢で使用すると過大な負荷が発生し、転倒するおそれがあります。

●ベッドに設置する場合、手すりとベッド側面を密着させた状態、またはすき間を空けすぎた状態で使用しないでください。
コーナータイプをベッドサイドに設置する場合は、すき間を確認してください。手すりの位置は、ベッドサイドから2～12cmまたは25～30cm離して設置します。30cm以上離す必要がある場合、利用者様の身体状態を確認の上で設定してください。
ロングタイプはベッドサイドで使用しないでください。

●屋外や風呂場など、風雨にさらされたり水気のある場所では使用しないでください。
ルーツは屋内専用品です。屋外や風呂場など水気の多い場所では、床面が滑りやすくなり手すりが固定できず、ずれや転倒によりケガをするおそれがあります。

●ベースフレームが濡れたり、結露した状態で使用しないでください。
ベースフレームやその周辺にカビを発生させる原因になります。必ずふき取った状態で使用してください。

●手すりの固定ボルトや高さ調整キャップなどのしめ具合を確認しないまま使用しないでください。
手すりの固定ボルトや高さ調整キャップなどは確実にしめてご使用ください。
点検で、固定ボルトやキャップなどに異常が見られる場合は、使用せず部品を交換してください。

●マットレスやクッションなどの柔らかい物の上では使用しないでください。
不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

●段差のある床、滑りやすい床の上では使用しないでください。
ベースフレームごとずれたり、不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

●手すりの間に腕などを入れたまま、電動ベッドの背上げや昇降動作を行わないでください。
腕などがはさまれてケガをするおそれがあります。必ず確認してベッドを操作してください。

●本製品は日本国内専用です。
海外では使用できません。

⚠ 注意

●蓄光プレートは2時間程度光ります。
非常時の薄暗いところでは手すり位置の目安になりますが、ベースフレームにつまずかないようご注意ください。

●ルーツを移動させる場合には手すりだけを持って動かさないようにしてください。
手すりだけを持って移動させると手すりが破損するおそれがあります。

●ベースフレーム表面で滑らないように十分ご注意ください。
濡れた足で使用するとベースフレームで滑るおそれがあります。

●介護者など付き添いが必要な方が使用する場合は十分ご注意ください。
介護者など付き添いが必要な方が使用する場合、必ず付き添いの方と一緒にご使用ください。

●床面とベースフレームとの段差でつまずかないように十分ご注意ください。
床面とベースフレームには段差があります。段差でつまずいて転倒しないように十分ご注意ください。
また、すり足で歩行される方が使用する場合は、十分ご注意ください。

●火気を近付けたり、ストーブ、ファンヒーターなどのそばで使用しないでください。
火気やストーブ、ファンヒーターの熱などにより製品を破損したり、火災につながるおそれがあります。

●お客様による分解・改造は行わないでください。
変形・破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
不具合が生じた場合は必ずお求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部までご相談ください。

●本来の目的以外には使用しないでください。
本来の目的以外に使用すると製品が破損したりして思わぬケガをするおそれがあります。

●有機溶剤やスプレータイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。
お手入れは本取扱説明書のお手入れ方法以外のやり方では行わないようにしてください。
消毒する場合、柔らかい布などに消毒剤を付けてから清拭し、必ず仕上げに水拭きしてください。
有機溶剤などお手入れに適さない物は、使用しないでください。

各部名称および梱包内容

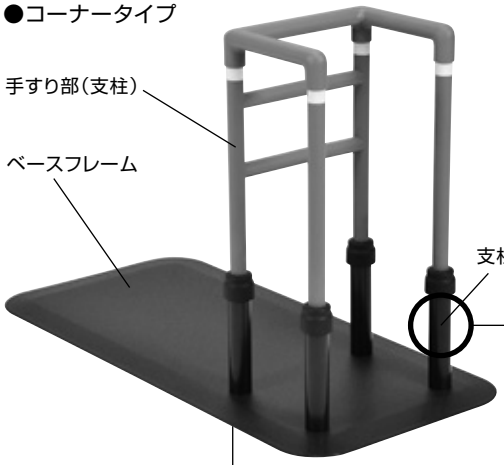
記載部品が全て揃っているか、また破損･変形などしていないか確認してください。
万が一、部品の不足･破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

付属品(共通)

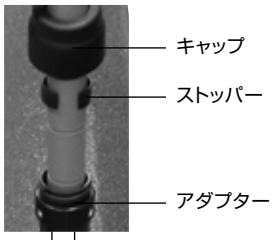
●取扱説明書:1部

手すり本体：1台

●コーナータイプ

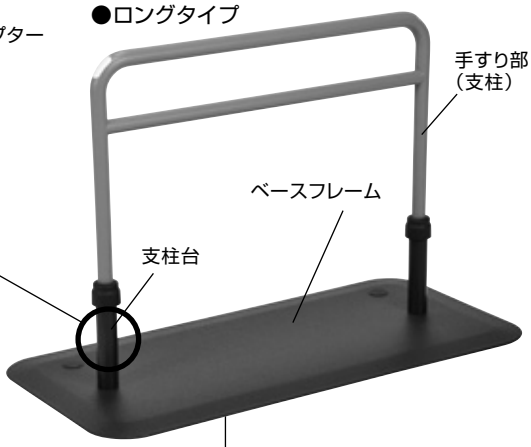


【手すりを引き上げた状態】



【裏面】

●ロングタイプ



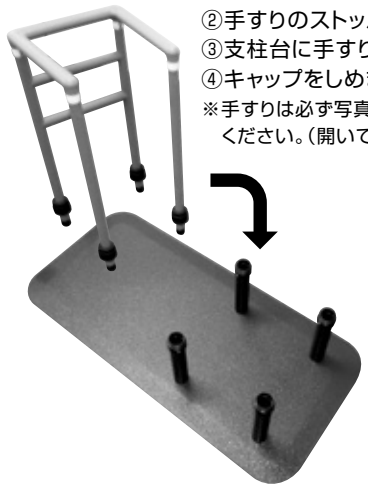
組み立て方法

●ルーツコーナータイプ／ロングタイプの組み立て方

ベースフレームに支柱台が付いた状態からの組立は以下のように行ってください。

①ベースフレームを水平な場所に置きます。

> ⚠ 警告
> ●ストッパーの位置を揃えずに差し込まないでください。
> ●キャップがゆるんだ状態で使用しないでください。



②手すりのストッパーの位置を揃えます。
③支柱台に手すりを差し込みます。
④キャップをしめます。
※手すりは必ず写真の向きに差し込んで使用してください。(開いている方が外側になります)

⑤組み立てた状態で手すり(支柱)を動かしてガタつきが無い状態であれば、使用可能です。

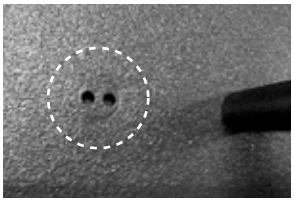
組み立て方法

●支柱台の取りはずしと取り付け方法（専用ワッシャはロングタイプのみ使用します）

【取り外す場合】

①手すりを横倒しにします。
②支柱台を保持しながら底面の固定ボルトを六角レンチ（M5サイズ）で外します。

【取り付ける場合】



①支柱台の位置を決めます。
②ベースフレームを横倒しし、支柱台を保持しながら底面から固定ボルトで固定します。
（写真はロングタイプ）
③固定ボルトは片側のみ強くしめずに交互にしめるようにしてください。
④トルクレンチを使用する場合、締め付けトルクを6.5N·mに設定してください。

⚠ 警告

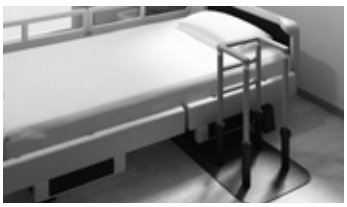
- ●コーナータイプには付属の黒いワッシャを必ず使用してください。
- ●ロングタイプには写真にあるような大型のワッシャを必ず使用してください。
- ●固定ボルトは特殊な形状の専用品となります。これ以外のボルトを使用すると床に傷が付く恐れがあります。

設置方法

●ルーツコーナータイプの設置方法

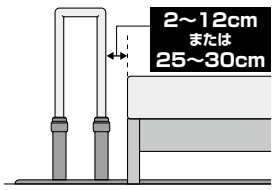
ベッドで使用する場合

●ルーツコーナータイプは電動式介護用ベッドでも使用できます。
●右の設置イメージのようにベースフレームをベッドの下に差し込んで設置します。



⚠ 警告

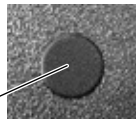
- ●ベースフレームや、手すりをベッドに固定しないでください。
- ●ベースフレームをベッドの下に差し込まず、外側に出して使用する場合は、ベースフレームは立ち上がる場所（足を置く場所）に設置してください。
- ●ベッドサイドに設置する場合は、すき間を確認してください。手すりの位置は、ベッドサイドから**2～12cm**または**25～30cm**離して設置します。30cm以上離す必要がある場合、利用者様の身体状態を確認の上で設定してください。



●ルーツロングタイプの設置方法

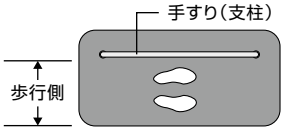
リビングで使用する場合

●ルーツロングタイプは歩行支援用の据え置き型手すりです。
●右の設置イメージのように動線上に設置します。
●用途によりセンターまたはサイドに手すりを取り付けて使用します。
（使用しない取り付け穴は付属のベース目隠しキャップで塞いでください）



⚠ 警告

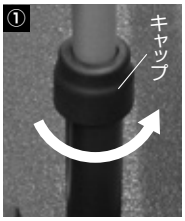
- ●ルーツロングタイプをベッドサイドでは使用しないでください。
- ●ベースプレートは歩行する側に設置してください。
- ●ベースフレームや手すりを固定して使用しないでください。利用者様の身体状態によっては不安定となる場合、バディーIとクロスバーの使用をお勧めします。
- ●使用していない手すり取り付け穴のベース目隠しキャップが浮き上がったまま使用しないでください。



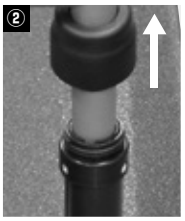
高さ調整方法およびフィッティング

●高さ調整方法

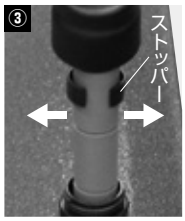
ルーツコーナータイプ／ロングタイプの高さは3段階（70／75／80cm）に設定できます。
以下の手順で設定してください。



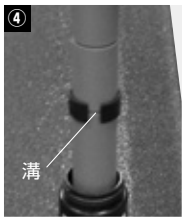
キャップをゆるめます。



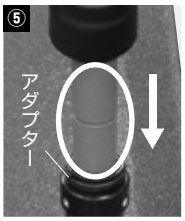
手すりを引き上げます。



ストッパーを開いて設定します。

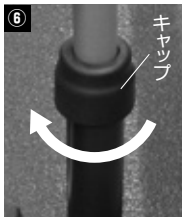


溝にストッパーが固定されているか確認します。



手すりを下げ、ストッパーが完全にアダプターに入っているか確認します。

※○の部分を持たないでください。



キャップをしめて高さ調整は完了です。必要以上にしめないでください

> ⚠ 警告　●手すりを下げる場合、キャップより下側を持って下げないようにしてください。

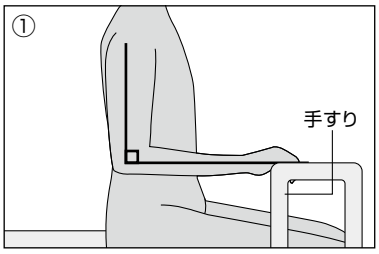
●フィッティング方法

ご使用方法に合わせて最適な高さを設定します。

【離床支援】コーナータイプ（ベッドサイドで使用される場合）

●ベッドサイドに腰をかけます。

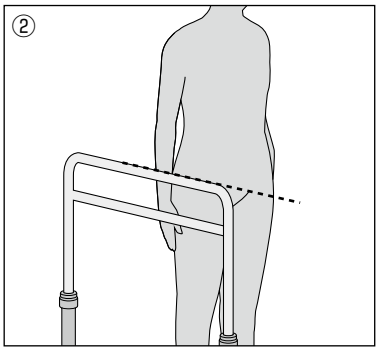
●右図①のように肘を直角にした位置に手すりの上端がくるように高さを合わせます。



【歩行支援】ロングタイプ

●右図②のように立ったとき、腰（大転子）の位置に手すりの上端がくるように高さを合わせます。

※高さ調整方法はあくまでも目安です。用途や利用者様に最適な位置に合わせてください。

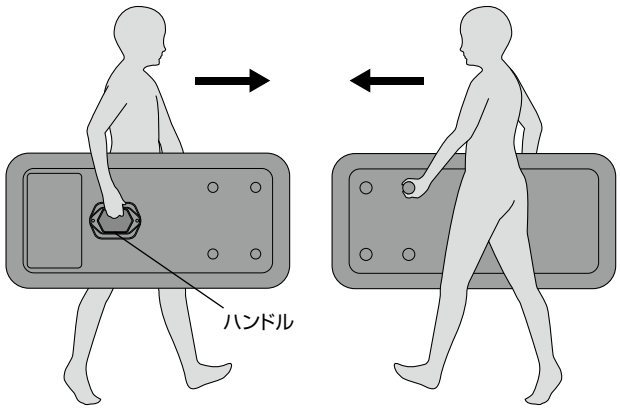


> ⚠ 警告　●高さ調整後は、キャップがしまっているか確認してください。

運搬・保管方法

●運搬方法

運搬する場合はベースフレームから手すり（支柱）部分を取り外して別々に運びます。
ベースフレームは、右図のとおり、体の外側にハンドルが、内側に支柱台がくるように持ってください。



⚠ 警告
- ●組み立てた状態で手すりだけを持って運ばないでください。
- ●車両で運搬する場合、上に重量物を重ねたり、不安定な積み方で運搬しないでください。

●保管方法

汚れを取り除き、よく乾燥させて保管してください。
直射日光の当たらない場所で保管してください。（材質、色が変化する恐れがあります）
湿気の多い場所では保管しないでください。（サビ、カビ発生の原因になります）
手すりを重ねて置いたり、不安定な状態での立て置き保管はしないようにしてください。

点検項目

●ルーツチェックシート

下記の点検項目を確認してください。
異常があった場合、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部までご相談ください。

	点検項目	確認	
1	**固定ボルトの確認** ・固定ボルトは確実にしまっていますか?	**YES** □	**NO** P2参照
2	**ベースフレームの確認** ・ベースフレームにゆがみやガタつきはありませんか? ・著しい塗装のはがれなどはありませんか?	**YES** □	**NO** P2参照
3	**ストッパーとアダプターの確認** ・ストッパーとアダプターにガタつきはありませんか?	**YES** □	**NO** P4参照
4	**手すりのキャップの確認** ・手すりのキャップは確実にしまっていますか?	**YES** □	**NO** P4参照
5	**手すりとベッド側面とのすき間の確認** ・手すりとベッド側面との間に、2～12cmまたは25～30cmのすき間ができていますか?	**YES** □	**NO** P3参照
6	**手すりの位置と高さの確認** ・手すりの位置と高さは利用者様に最適となっていますか?	**YES** □	**NO** P4参照
7	**ハンドルの確認** ・ハンドルにキズやゆがみなどの変形･ガタつきはありませんか?	**YES** □	**NO** P5参照

このようなときには

症　状	確　認	処　置
手すりに ガタつきがある	手すりのキャップは しまっていますか?	ストッパーの位置を確認し、キャップを確実に しめてください。(P4参照)
	手すりのアダプターに ガタつきはありませんか?	キャップを外し、アダプターのネジをしめて ください。(P4参照)
	固定ボルトはしまっていますか?	固定ボルトをしめてください。(P2参照)
	床に段差などがありませんか?	段差の無い平らな床でご使用ください。 (P2参照)
手すりの高さが 調整できない	ストッパーの位置を変えていますか? ※無段階の設定はできないので、キャップ だけゆるめても高さは変わりません。	ストッパーの位置を変えることで3段階設定 (70／75／80cm)が可能です。(P4参照)
手すりが傾いたまま 戻らない	固定ボルトはしまっていますか?	固定ボルトをしめてください。(P2参照) 固定ボルトがしまっていても傾いている場合、過大な 負荷が加わり、変形または破損した可能性があるので 使用を中止し、お求めの販売店または㈱モルテン 健康用品事業本部までご相談ください。
ハンドルに 異常がある	深いキズやゆがみなどの 著しい変形がありますか?	使用を中止し、お求めの販売店または㈱モルテン 健康用品事業本部までご相談ください。
	ハンドルの一部が伸びていませんか?	
	ハンドルを固定しているボルトが ゆるんでいませんか?	

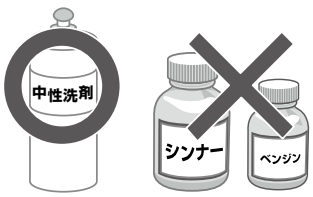
上記の処置で直らなかった場合、またはその他の症状の場合はお求めの販売店または㈱モルテン 健康用品事業本部までご相談ください。

【お客様窓口】株式会社 モルテン 健康用品事業本部
TEL(082)842-9975

お手入れ方法

●ベースフレーム、手すり

消毒する場合、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。
清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。仕上げに乾いた布で拭き取ってください。



⃠ 次亜塩素酸を使用する場合、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
⃠ 有機溶剤(シンナー・ベンジンなど)、殺虫剤、強酸性洗剤は使用しないでください。
⃠ オゾンガスは金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
⃠ 60℃以上の温度を加えないでください。
⃠ 金属ブラシ、ナイロンたわしなどは傷をつけるため、使用しないでください。
⃠ 高圧洗浄機や水洗いはしないでください。サビなど劣化させる恐れがあります。

仕 様

ルーツコーナータイプ　品番　MNTPCRBR

●本体サイズ：ベースフレーム=幅50×長さ105×厚さ1.3cm
　　手すり部=幅34×奥行き31×高さ70／75／80cm（3段階の高さ調整可能）
　　トップグリップ（楕円）=4×3.1cm、ミドルグリップ（楕円）=3.1×2.8cm
●重　　量：23.6kg
●素　　材：ベースフレーム=スチール、手すり部=スチール+硬質樹脂
■1年保証

ルーツロングタイプ　品番　MNTPLGBR

●本体サイズ：ベースフレーム=幅50×長さ105×厚さ1.3cm
　　手すり部=幅81×高さ70／75／80cm（3段階の高さ調整可能）
　　トップグリップ（楕円）=4×3.1cm、ミドルグリップ（楕円）=3.1×2.8cm
●重　　量：18.7kg
●素　　材：ベースフレーム=スチール、手すり部=スチール+硬質樹脂
■1年保証

開発・製造元

※ 健康用品事業本部にて取得しています。

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
東京　札幌　仙台　名古屋　大阪　広島　福岡
製品他、各種お問い合せは
〒739-1794　広島市安佐北区口田南2-18-12
TEL.082-842-9975
FAX 0120-769-123
E-mail:health@molten.co.jp

2015.10